



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 イートアンド株式会社  
 コード番号 2882 URL <http://www.eat-and.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 文野 直樹  
 (氏名) 日永 光

TEL 03-6402-3961

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	6,019	—	99	—	90	—	27	—
28年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 33百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	6.30	6.27
28年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成29年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第1四半期の数値および対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,841	4,624	39.0
28年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 4,617百万円 28年3月期 1百万円

(注) 平成29年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期の数値は記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,156	—	160	—	147	—	31	—	7.12
通期	26,280	—	627	—	627	—	274	—	61.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成29年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期および対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	4,433,345 株	28年3月期	4,433,345 株
29年3月期1Q	358 株	28年3月期	358 株
29年3月期1Q	4,432,987 株	28年3月期1Q	4,382,014 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループ（当社および当社の関係会社）は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期の数値およびこれに係る対前年同四半期増減率ならびに前期末の数値との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、熊本地震や英国でのEU離脱派勝利の影響を強く受け、農林・製造・金融など広範囲にわたり市場が一時的に大きく混乱しました。その後回復に向けて政府・企業が様々な策を講じておりますが、中国はじめ新興国の経済成長鈍化が重石となり、停滞感の強い状況が続いております。

一般の消費生活におきましては、爆買いブームが下火になりつつあるほか、先行きへの不安の高まりもあって賃上げの効果は限定的なものに留まっており、消費マインドは停滞気味です。

食品業界におきましては、熊本地震や天候不順の影響で原材料調達や物流に支障をきたしつつも、企業は目まぐるしく変わる消費者の新たな消費トレンドに対応すべく努めております。

このような状況下、当社グループにおきましては、女性管理職増加と新業態・新商品開発加速を企図し、組織を改編いたしました。また、食料品販売事業では主力商品の拡販を通して規模の経済性向上を図ったほか、外食事業では、次世代業態の構築・出店加速と並行して、既存業態での提供価値の多様化に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社の業績は、売上高が60億19百万円、営業利益が99百万円、経常利益が90百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は27百万円となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### ①外食事業

外食事業におきましては、関連会社も併せて組織を改編し、新業態の開発と新商品開発の加速を図りました。また、既存業態では新メニュー発売により、新たな価値の創造、ならびに店頭セールスに対する当社グループからの食材売上の比率向上に取り組みました。

なお、当第1四半期連結累計期間におきましては、加盟店4店舗、直営店3店舗の計7店舗を出店した一方、加盟店6店舗（うち海外1店舗）、直営店1店舗の計7店舗を閉店した結果、当第1四半期末店舗数は、加盟店392店舗（うち海外28店舗）、直営店60店舗の計452店舗（うち海外28店舗）となっております。

また、連結決算開始に伴い子会社の運営店舗（直営店）5店舗を含めて記載しております。

以上の結果、外食事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は、31億27百万円となりました。

なお、外食事業の店舗数の内訳は以下のとおりであります。

業態名	前事業年度末 (平成28年3月31日)			当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)		
	直営店	加盟店	計	直営店	加盟店	計
大阪王将	21	336	357	26	330	356
ラーメン	15	28	43	16	28	44
よってこや	3	16	19	3	16	19
太陽のトマト麺	9	12	21	9	12	21
その他ラーメン	3	0	3	4	0	4
その他業態	12	6	18	18	6	24
カフェ	5	4	9	6	4	10
その他業態	7	2	9	12	2	14
海外	0	29	29	0	28	28
合計	48	399	447	60	392	452

(注) 前事業年度末（平成28年3月31日）店舗数については、イトアンド株式会社（単体）の店舗数であります。

## ②食料品販売事業

食料品販売事業におきましては、組織改編で食品開発セクションを事業内に取り込み、商品開発・営業間のコミュニケーションの加速と緊密化を図りました。また、量販各社店頭での拡販イベントを強化し、主力商品であり内製品でもある「羽根つき餃子」の販路拡大と既存得意先への出荷量増を推し進めました。

以上の結果、食料品販売事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は、28億95百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債および純資産の状況

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産の残高は、118億41百万円となりました。

流動資産は、56億5百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金10億69百万円、売掛金33億48百万円です。

固定資産は、62億35百万円となりました。その主な内訳は、建物25億21百万円、土地10億89百万円です。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債の残高は、72億16百万円となりました。

流動負債は、58億81百万円となりました。その主な内訳は、買掛金19億62百万円、未払金13億96百万円、短期借入金12億30百万円です。

固定負債は、13億35百万円となりました。その主な内訳は、役員退職慰労引当金3億45百万円です。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は、46億24百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金26億90百万円です。

この結果、自己資本比率は39.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、本日（平成28年8月5日）公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備および構築物については、改正後の法人税法に規定する減価償却方法によっております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
(平成28年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,069,909
売掛金	3,348,930
商品及び製品	652,528
原材料及び貯蔵品	205,201
前払費用	198,517
繰延税金資産	83,021
その他	79,482
貸倒引当金	△31,847
流動資産合計	5,605,743
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	2,521,033
土地	1,089,772
その他（純額）	1,086,769
有形固定資産合計	4,697,576
無形固定資産	
のれん	7,951
その他	246,878
無形固定資産合計	254,829
投資その他の資産	
投資有価証券	136,159
差入保証金	747,369
繰延税金資産	155,363
その他	290,376
貸倒引当金	△45,851
投資その他の資産合計	1,283,416
固定資産合計	6,235,822
資産合計	11,841,565

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間  
(平成28年6月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	1,962,039
短期借入金	1,230,000
1年内返済予定の長期借入金	62,797
未払金	1,396,200
未払費用	341,876
未払法人税等	58,312
賞与引当金	74,776
役員賞与引当金	6,133
売上割戻引当金	564,971
その他	184,084
流動負債合計	5,881,191
固定負債	
長期借入金	185,496
退職給付に係る負債	92,670
役員退職慰労引当金	345,910
その他	711,312
固定負債合計	1,335,388
負債合計	7,216,580
純資産の部	
株主資本	
資本金	959,022
資本剰余金	891,458
利益剰余金	2,690,139
自己株式	△442
株主資本合計	4,540,177
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	53,531
為替換算調整勘定	23,651
その他の包括利益累計額合計	77,183
新株予約権	1,634
非支配株主持分	5,990
純資産合計	4,624,985
負債純資産合計	11,841,565

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	6,019,965
売上原価	3,645,364
売上総利益	2,374,601
販売費及び一般管理費	2,275,503
営業利益	99,097
営業外収益	
受取利息	130
受取配当金	44
受取手数料	1,024
その他	355
営業外収益合計	1,555
営業外費用	
支払利息	1,902
為替差損	1,118
持分法による投資損失	6,703
その他	339
営業外費用合計	10,063
経常利益	90,590
特別損失	
固定資産除売却損	17,613
特別損失合計	17,613
税金等調整前四半期純利益	72,976
法人税等	45,797
四半期純利益	27,178
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△770
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,949

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	27,178
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	4,729
持分法適用会社に対する持分相当額	2,046
その他の包括利益合計	6,776
四半期包括利益	33,955
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	34,725
非支配株主に係る四半期包括利益	△770

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,127,614	2,892,351	6,019,965	6,019,965	-	6,019,965
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	3,202	3,202	3,202	△3,202	-
計	3,127,614	2,895,553	6,023,167	6,023,167	△3,202	6,019,965
セグメント利益	62,888	126,842	189,730	189,730	△90,632	99,097

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

(2) セグメント利益の調整額△90,632千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。